

環境システム計測制御学会(EICA)

環境システム計測制御学会(EICA)は、1991年、上下水道・廃棄物・大気汚染など、環境分野の計測・制御・自動化技術を担う「産官学連携の学会」として創立され、発展してまいりました。

日本の環境問題はこの半世紀に大きな進展がみられましたが、依然、土壌・地下水汚染、水域の富栄養化等の問題は潜在するとともに、残留医薬品などの新たな汚染への対応が必要になっています。

また、上下水道・廃棄物処理施設などの環境インフラは、エネルギー・資源問題の制約から新たなシステムが求められるとともに、既存施設においては老朽化が進み、その維持管理・アセットマネジメントの効率化は喫緊の課題です。

さらに、海外新興国では水不足・環境汚染が深刻化し、日本が蓄積してきた技術・ノウハウを利用する問題解決が求められています。

当学会では、環境問題における計測・制御・システム化に関する研究や技術の進歩発達を図り、応用的技術の普及を通じて環境問題の解決に取り組んでいます。

EICAの活動

◆総会・講演会

毎年1回、5月に開催しています。(東京)

◆研究発表会

年1回の研究発表会を開催。2日間にわたり、セッション別に発表と討議を行う研究発表会と各地方都市をリレーする“リレー研究会”を隔年で開催しています。

本年度は「第30回環境システム計測制御学会研究発表会」を以下の日程にて開催致します。

・日時:平成30年11月6日(火)～7日(水)

・場所:大阪科学技術センター(大阪市西区)

◆関連分野のデータベースの電子化

学会誌等の関連文献をデータベース化し、HP上で検索を可能にしています。

◆プロジェクト活動

EICAでは様々なプロジェクトを立ち上げ、調査活動(国内外)、人材育成、成果発表を行っています。



環境システム計測制御学会(EICA)

EICAは計測・制御・情報解析を基盤技術とし、さらに発展著しいICT(情報通信技術)を加えることで、さまざまな環境問題の解決に貢献します。



対象分野

(A)水道・下水道 (B)用水・排水 (C)汚泥再生 (D)廃棄物活用
(E)環境モニタリング(大気・水・土壌) (F)再生可能エネルギー
(G)その他

対象項目

- 1.装置・システム[モデリング, シミュレーション, 設計支援]
- 2.計測・制御[計測, 制御, 最適化, 異常診断, 運転支援]
- 3.管理・計画[運転管理, 維持管理, 運用計画, リスク管理]
- 4.情報処理[計算機システム, 信号処理, データ処理, データベース, ネットワーク]
- 5.エネルギー[発電制御, 省エネ, コージェネ, 系統連携, 実施例]
- 6.その他[資源化, ゼロエミッション, 広領域等]

EICAの歴史

- 1980年 「第1回下水道処理の自動制御と水質の計測監視に関するワークショップ」開催
- 1989年 「EICA環境システム計測制御自動化研究会」設立
- 1993年 「第1回研究発表会(EICAリレー研究発表会)」開催
- 2004年 「第16回研究発表会併設IWA/ICA国内プレ&日韓ジョイント国際ワークショップ」開催
- 2005年 若手会員の研究活動を支援する「未来プロジェクト」発足
- 2012年 「東日本大震災調査研究報告書」発行
- 2014年 「東日本大震災調査研究報告書(監)米国ハリケーン・サンディとの比較」発行